

潮かぜ

まちづくりニュース 第3号

大分市からのお知らせ アンケート結果の特集号です！！

浜町北、浜町東、芦崎、新川西、新川町1・2丁目地区に土地・建物をお持ちの方を対象に、住まい・まちづくりに関するアンケート調査を行いました。

調査は、平成12年11月15日から平成12年12月25日までの間で実施し、配布数1,430世帯（人）に対して約54%の有効回答を得ることができました。改めてみなさんの地区に対する関心が高いことを再確認することができました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

アンケート結果で示されたみなさんの道路整備に対する考え方や住宅の建て替えなどに関するご意向をまちづくり計画に反映し、より実効性の高い計画づくりに向け地元の方々と平成13年度も意見交換会等を開催する中、地区のまちづくりをともに考えて参りたいと思っております。

協議会からのお知らせ

これまで協議会のとりまとめ役をしていただきました岩田次雄会長（芦崎自治委員）より健康上の理由から会長職辞任の申し出があり、協議会で話し合いの結果、委員全員の総意により顧問である日名子起美郎市議に新会長としてお願ひしお引き受けいただきました。

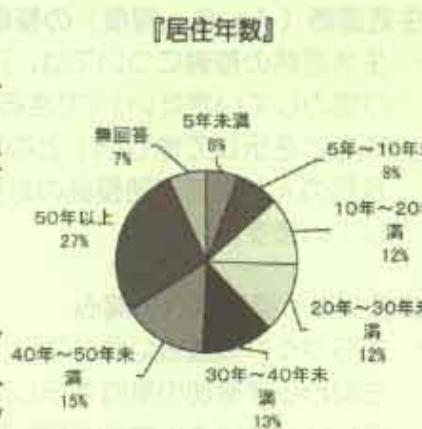
なお、岩田前会長には引き続き顧問としてお残りいただき協議会運営に対しましてお力添えをお願いいたします。今後とも住環境整備に向けた協議会活動への住民皆様のご理解とご協力、ご支援を宜しくお願ひいたします。



地区内に居住する地権者等を対象にした調査結果の要旨

■回答者及び家族の状況

- 浜町・芦崎・新川地区での居住年数については、「50年以上」の人のが約27%で最も多く、また約7割の人が20年以上の居住者です。
- 世帯人員は2人が最も多くて約34%を占めています。単身世帯は約16%で、5割が1~2人世帯です。
- 回答者の職業は「無職」が約39%で最も多く、次いで「会社員」が約29%で続いています。なお、「漁業」従事者は約3%です。
- 土地・建物の所有状況は、「地区内に土地・建物とも自分で所有している」人が約65%、「地区内で分譲マンションを持っている」人が約5%となっています。一方、「地区内にアパート・マンションなどを借りている、または一軒家を借りている」人は約18%です。



■暮らしやすさや住宅などについての満足度

①住環境に対する満足度

(生活の快適さ・安全性への満足度)

- 老後の暮らしに不安感をもつ人は約38%です。
- 近所づきあいや人のふれあいについては約81%の人が概ね満足と感じています。
- 日常の買い物等の便利さについては約73%の人が概ね満足しています。
- 通勤・通学の便利さについては約67%の人が概ね満足しています。
- 災害対策については約60%の人が不満感を示しています。

『近所づきあいや人のふれあい』



『災害対策』



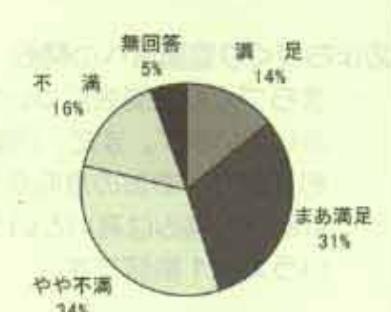
『車の通りやすさ』



『車の通りやすさ』



『住まいについての満足度』



(道路などの都市基盤施設への満足度)

- 車の通りやすさについては、道路整備が課題となっている地区的状況を反映して、約56%の人が不満感を示しています。
- 道の歩きやすさについては、約52%の人が不満感を示しています。
- 公園や広場の数については約54%の人が不満感を示しています。
- 下水道の整備状況については、不満感をもつ人は市道など道路が未整備な地区を中心にして約36%です。

(公共交通施設への満足度)

- 保育園や幼稚園への通いやすさについては約51%の人が概ね満足しています。
- 高齢者福祉施設や障害者施設への通いやすさについては約46%の人が不満感を示しています。
- 医療施設への通いやすさについては、約79%の人が概ね満足しています。

②住まいについての満足度、不満点

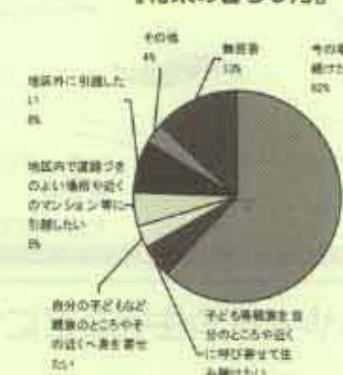
- 現在の住まいについては、不満感をもつ人が約50%、概ね満足と感じている人が約45%で、満足及び不満足がほぼ半々という状況です。
- 住まいについて不満感をもつ人に不満点を複数回答で挙げてもらうと、最も多いのが「地震や火災時の延焼など」です。以下「車が家の前まで入らない」「住まいの古さ」「下水道の不備」等が続きます。

■今後の暮らし方や建て替えなどについての考え方

①将来の暮らし方への希望について

- 各世帯が望む将来の暮らし方については、7割近い人が今の場所に住み続けることを望んでいます。
- 一方、「自分の子どもなど親族のところやその近くへ身を寄せたい」「地区外に引越ししたい」という人を合わせると、1割強の人が何らかの形での地区外移転を望んでいると推察されます。

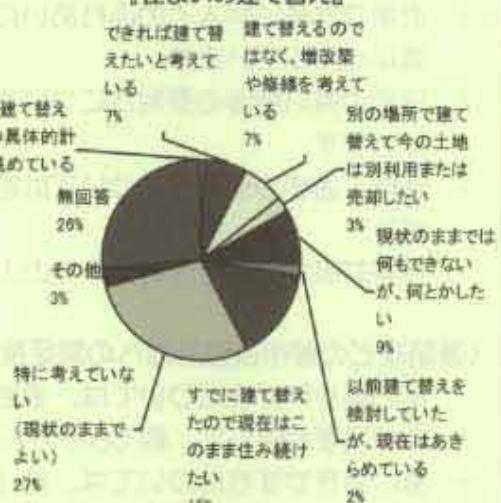
『将来の暮らし方』



②住まいの建て替えなどに関する考え方について

- 現在の住まいの今後の建て替えなどについては約14%の人が住まいの建て替えや増改築・修繕の意向を示しています。
- また「現状のままでは何もできないが、何とかしたい」と考えている人は約9%です。

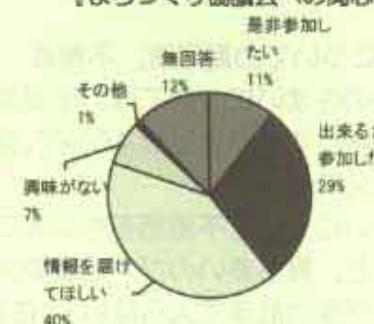
『住まいの建て替え』



『生活道路整備についての考え方』



『まちづくり協議会への関心』



③建て替えや修繕等の時期について

- 住まいの建て替えや増改築などを考えている人に対して、その時期を問うと65%が10年以内の建て替えや増改築などを行うことを望んでいます。

④建て替えの際の問題点について

- 住まいの建て替えや増改築などを考えている人に対して、その問題点を問う（3つ以内の複数回答）と、「資金が足りない」を挙げる人が約47%で最も多くなっています。以下、「前面道路の幅員が狭いので」「敷地が狭い」「接道していないので建て替えられない」「自分自身が高齢になったので煩わしいことはしたくない」等が続いています。

■今後のまちづくりの進め方に関する考え方

①生活道路（4～6m程度）の整備についての考え方

- 生活道路の整備については、「自分の土地が減ってもできるだけ協力していく」と「できるだけ協力していくので、条件などを示して欲しい」との意向をもつ人を合わせると、約5割の人が生活道路整備の必要性と協力に前向きな考え方を示しています。

②まちづくり協議会への関心

- まちづくり協議会については約4割の人が参加の意向を示しています。また、「情報を届けてほしい」という人も約4割で、参加の意向をもつ人を合わせるとまちづくり計画への関心は高いといえます。一方、「興味がない」という人は1割弱です。

地区外に居住する地権者等を対象にした調査結果の要旨

■地権者の状況

- 地区外地権者（52人）の居住地は、当地区以外の大分市内が38人（74%）、大分市以外の大分県内が7人（13%）、大分県外が7人（13%）となっています。

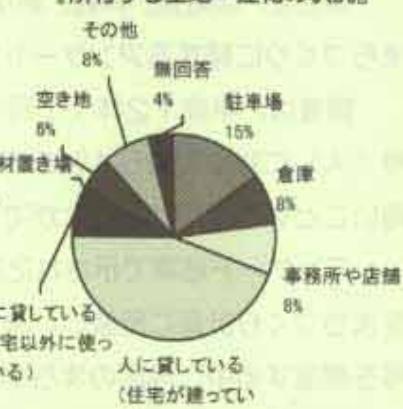
『地区外地権者の居住地』



■所有する土地・建物の状況

- 土地・建物の利用状況については「人に貸している（住宅が建っている）」が約44%で最も多く、「駐車場」が約15%、「事務所や店舗」及び「人に貸している（住宅以外に使っている）」が約8%と続いている。「空き地」は約6%です。

『所有する土地・建物の状況』



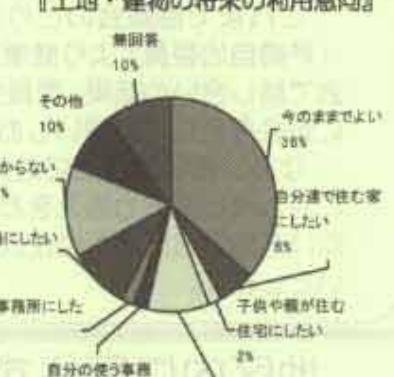
■所有する土地・建物についての満足度

- 所有する土地・建物については約48%の人が不満感をもっています。
- 所有する土地・建物について不満感をもっている人に対して、その不満点を複数回答で挙げてもらうと、「地震や火災時の延焼など」が約72%で最も多く、以下「車が家の前まで入らない」「住まいの古さ」「下水道の不備」等が続きます。

■今後の利用方向や建て替えなどについての考え方

- 所有する土地・建物の将来の利用方向については、「今までよい」が約37%で最も多く、「そこをアパートやマンションにしたい」「そこを駐車場にしたい」が各々1割等となっています。
- 所有する建物の今後の建て替えなどについては、「できれば建て替える」と「増改築や修繕を考えている」「別の場所で建て替えて今の土地は別利用または売却したい」「現状のままでは何もできないが、何とかしたい」という人は合わせて約38%です。

『土地・建物の将来の利用意向』



■今後のまちづくりの進め方に関する考え方

①生活道路（4～6m程度）の整備についての考え方

- 生活道路の整備については、「自分の土地が減ってもできるだけ協力していく」「できるだけ協力していくので、条件などを示して欲しい」との意向をもつ人を合わせると、約6割の人が生活道路整備の必要性と協力に前向きな考え方を示しています。

『生活道路整備についての考え方』

